



# 第一薬科大学 後援会会報

第38号



## 目次

後援会会長挨拶 .....	1 頁	熊本支部総会報告 .....	14 ~ 16 頁
後援会事業と役員 .....	2 頁	南九州支部総会報告 .....	17 ~ 18 頁
広域支部総会報告 .....	3 ~ 5 頁	看護支部総会報告 .....	19 ~ 20 頁
福岡支部総会報告 .....	6 ~ 7 頁	令和5年度入学式会長挨拶 .....	21 頁
福岡支部質疑応答 .....	8 頁	フレッシュマンセミナー2023 .....	22 頁
北九州支部総会報告 .....	9 頁	6年生合宿勉強会報告 .....	23 ~ 26 頁
北九州支部質疑応答 .....	10 頁	第14回薬大祭 .....	27 ~ 28 頁
筑後支部総会報告 .....	11 頁	令和6年度支部総会予定 .....	29 頁
佐賀・長崎支部総会報告 .....	12 ~ 13 頁	編集後記 .....	30 頁

## ご挨拶



後援会会長  
吉田 幹英

後援会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より後援会活動にご理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

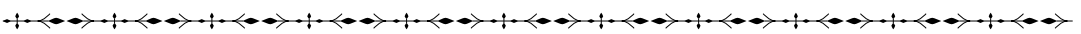
第一薬科大学後援会は、大学の堅実な発展を後援することを目的として発足し、学生の充実したキャンパスライフ向上をめざしています。

主な支援内容は、国試対策勉強会への支援やCBT対策講習会への支援、低学年向けの学力向上を目的とした夏季集中講座の講義代全面支援と国家試験やフレッシュマンセミナー、大学祭への支援などの厚生費補助、また、出身地域別に行っている支部総会

の開催等の活動があります。

本年の支部総会は、すべての支部で開催することができ、薬学部では福岡支部、北九州支部、筑後支部、佐賀・長崎支部、熊本支部、南九州支部、広域支部で、看護学部では看護支部として7月から9月にかけて実施されました。各支部総会では、本学からは先生方に来ていただき大学の現況報告として、各学年別の講義、実習等の授業の説明、進級状況や国家試験等についてお話をさせていただきました。また、筑後支部では卒業生の方から薬剤師国家試験の合格体験談、また、数支部では薬学ゼミナールの先生から国家試験対策についてのお話もありました。支部総会は出身地域のそれぞれの学生さん、ご父兄同士の交流が行われる場です。支部総会はお近くで開催されていますし、貴重なお話を聞けるとと思いますので、お子様にもお声がけしていただき、ぜひ参加していただきたいと思います。

学生の皆様には、何かと学生生活にストレスを感じていらっしゃるかと思いますが、後援会では本学と協力しながら後援会活動を行ってまいります。今後とも、会員の皆様方、関係者の皆様方に第一薬科大学後援会へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## ◆ 令和5年度 後援会事業

### 1. 会議

- 5月28日 第一回代議員会  
7月2日 広域支部総会(小松副学長)  
看護支部総会(吉武看護学部長と学年別担任教授)  
7月9日 筑後支部総会(白谷学生部長とOB長田氏)  
佐賀・長崎支部総会(中原教務部長)  
7月23日 福岡支部総会(小松副学長)  
7月30日 熊本支部総会(小山区部長と葉ゼミ松本講師)  
9月6日 北九州支部総会(小山区部長と葉ゼミ松本講師)  
南九州支部総会(中原教務部長)  
10月22日 本部役員会  
1月21日 会長副会長会議  
3月3日 第二回代議員会

### 2. 大学への支援

実習棟耐震化工事と新講義棟建設予定の大学に対し1000万円の寄付  
国家試験受験生へ弁当と飲料代を補助・登録販売者受験料補助  
フレッシュマンセミナー補助・看護学部の国試対策受験料補助  
看護学部PCR検査代補助・助産師国試模試代補助  
web問題集代金補助・6年生夏季合宿勉強会支援・大学祭補助  
国試対策講習会補助・CBT対策講義代補助

## ◆ 令和5年度 後援会役員

会長	吉田 幹英、	副会長	富永 宏治、	副会長	岡村 淳子
副会長	中島 美穂子、	監査	田代 理佐、	監査	江口 隆郎
幹事	大村 孝文、	幹事	東江 正史、	幹事	泉 裕治
幹事	田代 普美、	幹事	友納 真理子、	幹事	小松 公秀
幹事	原 美穂、	顧問	津田 和敏		
代議員	明貝 文夫、	代議員	田島 由貴子、	代議員	森 美保
代議員	松尾 美代子、	代議員	小柳 礼子、	代議員	牟田 利恵
代議員	江頭 和昭、	代議員	福田 秀文、	代議員	福田 康子
代議員	古賀 貴子				



広域支部支部長  
東江 正史

令和5年度第一薬科大学広域支部総会は令和5年7月2日(日曜日)に福岡市内のホテルクリオコートにて開催されました。出席者数は保護者、学生を併せて9人の参加でした。

最初に支部長から「2月の国家試験の新卒者合格率が94%あり、学生はもとより諸先生方や保護者、後援会のバックアップがあったからこそで、今年度もそれ以上を期待します。」との挨拶で始まりました。

次年度の代議員もスムーズに決まり、次年度代議員から「第一薬科大卒の御自身の体験等も踏まえて

国家資格を取得すれば道は開ける」と学生へのエール、及び自己紹介がありました。

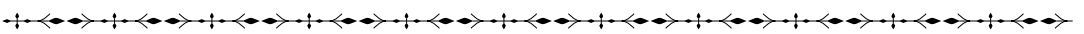
時間的余裕があったため、各自己紹介をしてもらいました。第一薬科大学卒業者が身内や周りにいる方が多く見受けられました。

続きまして、小松副学長の学力向上対策についての講演がはじまり

「R2.3.4年度を比較し、6年生の進級率が50%と上がっている。低学年時から基礎学力を定着させ進級率を高めていく、6年生の卒業率を高めていくという事を基本方針としている。」との事で、各学年時における学力向上対策の詳細がありました。

- ・ 1年生 入学時の成績と入学後の成績は相関しないので、1年時に継続的な学習習慣が定着すると2年時以降の成績も良くなる。又、モチベーションを保ってもらう事として、特別講師を招待したり、講義内容を変え興味を持ってもらう事やスクーリングを始めている。
- ・ 2年生 基礎学力試験の内容を変えたにもかかわらず点数はUPしている、良い傾向
- ・ 3年生 基礎学力試験はほぼ横ばいである。2年3年生はどうしてもモチベーションが保てないので、補習講義で学習意欲を高めていく。
- ・ 4年生 CBT、OSCEがある、CBTは約80%、OSCEは毎年100%です。CBT体験受検の試験結果の割合がよければ2年後の国家試験の割合もよいという相関があるので、CBTをどれだけ高めていくかに力を入れている。
- ・ 5年生 国家試験過去問を解く。模試をやる。60%以上の正解率の問題をクリアすれば、国家試験に合格できる。国試予備校のオンライン授業を視聴できるようにしている。
- ・ 6年生 卒業者数も毎年増えている。成果確認試験を複数回やっている。夏季合宿で勉強







福岡支部長  
泉 裕治

2023年度支部総会を、7月23日博多駅前のホテルクリオコートにて行いました。今年はコロナ感染症が5類に変更になり、行動制限のない開催にも関わらず昨年より少ない19名（学生2名）の参加者となりました。次期代議員の選出を行い、次に大学より小松副学長から大学の現況について説明を頂きました。

### 1. 次期代議員について

城田 正敏様に決定しました。

### 2. 小松副学長より薬学部の現況について

- 第108回国家試験について：卒業生50名中47名合格 卒延生、既卒業生221名中65名合格 今年は難易度が下がり235点が合格ライン（9500人）
- CBTについて：CBT体験受験60%以上得点で本試験100%合格 国試82.2%合格 45%以上でCBT87.4% 国試 39.7% 45%未満 CBT53.2% 国試 14.7%と CBT 体験受験まではどうやって学力を向上させるかが課題（3年次が1番学業に対するモチベーションが下がる）
- 4年次CBT体験受験までの学力向上のための大学側の取り組み  
薬学への招待によるモチベーション維持  
1～3年次での登録販売者試験を受けることによるモチベーション維持  
日本化粧品検定受験によるモチベーション維持  
2年次（24コマ補習）3年次（33コマ補習）Web 問題集を用いた基礎学力強化  
夏季8日間のCBT 対象勉強会 etc
- 5年次について：実習がほぼ全日程を占めるので動画視聴による繰り返し学習を勧奨  
国試予備校のオンライン講義の配信も活用
- 6年次について：前期に行われる成果確認試験を安易に考えず早い段階から学習に取り組むことが重要 8月に行われる夏季合宿勉強会で中位得点者が伸びているので参加して欲しい。
- 2026年70周年の記念事業として新校舎の建設に着手する。

### 3 昼食時懇親会の中での質問

**Q** 支部総会を大学で実施し昼食も学食を利用するような開催はできないか？

**A** 大学での開催は大変難しいとのことでした。現在、大学で保護者会を実施しており、今年度も直接いらしていただく方法とリモートでの説明&個人面談の両方を実施していました。この機会に大学へはおいでください。また、食堂は日曜営業を実施しておりません。

このために支部総会の役割は支部会員間の親睦が目的となっております。「教授の説明もダブることになるので、支部総会では無くしても良いのでは？」という意見も少なからず聞き及んでおります。親睦のための方策を練って今後とも多くの方に参加いただけるようにいたしますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

最後に、コロナ禍で毎年参加者が減少傾向にあります。大学の状況、及び国家試験の対策等貴重な情報が多くありますので、是非とも多くの会員様が出席頂きますようお願い申し上げます。





## 福岡支部総会：質疑応答

---

**Q1** 数年前に新校舎設立の話があがっていましたが、その後どうなったのでしょうか？

**A1** 2026年 創立70周年記念事業として新講義棟の建設に着手します。  
年度中に地上10階、地下1階の新棟が完成予定です。  
現在の事務室が入っている本館は取り壊す予定のため、今年度の大学祭10月28日・29日はホームカミングディとし、同窓生に来ていただく予定です。  
28日の18時から懇親会も予定しております。

**Q2** 現況説明で3年次はモチベーションが下がるとのことでしたがどうして？

**A2** 友達ができ地域にも慣れてしまう結果、さぼりがちになるのでしょう。  
また、3年次から実習や専門科目も急に増えるのでモチベーションが下がるのだと  
のことから、1年次から専門科目を増やし、早いうちからモチベーションを上げ  
3年次で専門科目を減らすことによって負担を和らげることで、今現在、効果が出て  
きております。



北九州支部長  
田代 理佐

【日 時】令和5年8月6日(日) 10時～12時  
【場 所】TKP 小倉駅前カンファレンスセンター8階  
【出席者】保護者13名、学生6名、  
本部役員2名、事務長

大学より小山教授、薬学ゼミナールより松本先生をお招きし、北九州市小倉北区で開催しました。

はじめに北九州支部の活動内容を報告し、本部より出席くださった2名の役員と事務長を紹介しました。次に2名の先生による講演が行われました。講演終了後に質疑応答の時間を設けました。

### ≪ 講演1 薬学部長 小山教授 ～薬学部の現状～ ≫

- 108回薬剤師国家試験は、難易度が下がり平均点が高くなった。厚生労働省が、薬剤師総数をコントロールするということに力を入れているようで、基準点を超えているから合格とはいけなくなった。
- 卒業試験と国家試験の難易度については、試験内容を精査しほぼ一致するようにしている。卒業試験が難しいという声をきくが国家試験に準じたレベルである。
- 後援会からの補助がある登録販売者試験(難易度は1～3年生までの受講内容、合格者は4年次研究室配属選抜に多少有利になる)やWeb問題集の活用で自己研磨するのもよい。
- 大学ホームページから「薬学部国試対策」の動画が視聴できるので活用してほしい。
- マインドセットをしっかりと持ち、土日問わず最後まであきらめずに毎日勉強を続けていく必要がある。まずは出席率アップを心がけるように。

### ≪ 講演2 薬学ゼミナール 松本先生 ～薬剤師国家試験合格に向けて～ ≫

- コアカリキュラムの改訂により、薬剤師に求められる資質や能力が、より臨床分野寄りになっている。
- 基礎学力(物理、生物、化学)がとても大事であり土台となるため、低学年のうちからきちんと習得するように。
- 実務実習で体験してほしい8疾患(がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経系疾患、免疫アレルギー疾患、感染症)の病態や薬の相互作用等、完璧!を目指してほしい。
- 年3回実施している全国统一模擬試験の受験で、相対的な順位や実力が把握でき、出題傾向がわかるため、是非、有効活用してほしい。
- 留年を避けるためには、能動的に授業に参加し、復習のパターンを身に着けるとよい。  
(重要カ所をつかむ ⇒ 調べて理解する ⇒ 覚えなおす ⇒ 問題を解き、自分で説明できる)

## 北九州支部総会：質疑応答

**Q** 卒業試験の難易度は

**A** (小山教授) 複合問題や実践問題の一題が長文になってしまい、問題の質にバラツキがでるといふ懸念があるようだ。問題作成している実務実習系の先生方がストック問題を集めており、その問題の中からアレンジ作成し、全体の難易度が大きく変化しないように工夫している。また、国家試験難易度との大きなズレもない。

**Q** 国家試験にストレート合格するための、今日から始められる生活改善は

**A** (松本先生) 習慣化するということがとても大事である。例えば、寝る前 40 分間薬物名を覚えて寝る？朝起きて覚えた薬物名の見直しをする。つまり、寝る前にやること&朝一にやることを決め、毎日やらないと気持ち悪いと思えば大成功！

**Q** 国家試験のマークシートの解答について、分かる問題分からない問題の見極めや、解答欄を正確に埋めるためのコツは

**A** (松本先生) 図形・実験・計算の問題は後回しにしている学生が多いようだ。時間配分を考え、ややこしそうな問題は後で解答するのは良いでしょう。飛ばした問題の解答欄を薄くカッコしておく等の工夫も必要か。

**Q** (遠方からの通学者より)

休校になる際、早めに e ポートフォリオにあげてもらえないか

**A** (前田事務長) 西鉄電車と JR が連休の場合は、休校としている。オンライン授業への切り替えということもあるので、8 時までの掲載をしているがなるべく早めの掲載を心がける。大学への問い合わせも可能である。

### ●まとめ●

今年開催会場を変え、そして支部長初任務だったため、不安や心配が多々ありました。多少ハプニングが発生しましたが、代議員の森さん、支部手伝いの有馬さんのお力添えがあり無事終了することができました。来年度は懇親会を検討しており、より良い支部総会にしたいと思っております。

今後とも、支部活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 筑後支部総会報告

筑後支部長 原 美穂

7月9日、第一薬科大学筑後支部総会が開催されました。当日は災害級の大雨となり、各交通機関はストップ。会場周辺の道も一部閉鎖されるなどの大変な状況でした。朝の時点では小雨程度だったので開催しましたが、残念ながら参加者は少なかったです。

総会では、白谷智宣教授と卒業生の長田進夢様が講演を行いました。白谷教授は、大学の現況について詳しくお話しくださり、国家試験の合格率は悪くないものの、進学率が低いという状況、低学年のときから頑張っている生徒でない国試の合格どころか進学が難しいことに、保護者として危機感を感じました。特に、1年生の時から学習の習慣が大切であるとのこと。この講演を聞いた保護者の皆様は、子供の学習にもっと関心を持つこと、また伴走することの重要性を感じたことだと思います。

一方、長田さんの講演は、学生時代の勉強法や経験についての具体的かつリアルな話で、現役の大学生にもっと聞いて欲しかった内容でした。薬剤師と一言で言っても、どの病院で、どのような患者さんの役に立ちたいのかという目標によって進路が大きく変わること。最初から優等生というわけではなく、頑張り始めてもなかなか結果が出ず、国試の直前に合格圏内に入ったという長田さんの話は、保護者としても大変参考になりました。

会が終わる頃には雨も小降りとなり、無事に閉会となりました。

最後に、筑後支部の現状についてお伝えいたします。現在、筑後支部は2人の役員で運営しており、2人とも新しい役職に就いたばかりで、右も左もわからない状態です。今回の開催の意思決定なども、日曜で大学が休校ということもあり、誰に相談したらいいのかもわかりませんでした。そんな状況ですので、役員を募集しております。ちょっとしたお手伝いでもありがたいです。皆様のご協力を心よりお待ちしております。

以上、第一薬科大学筑後支部の活動状況報告でした。次回の総会では、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



## 佐賀・長崎支部総会報告



佐賀・長崎支部長  
江口 隆郎

7月9日（日）アパホテル佐賀駅南にて、総勢19名にご参加していただき支部総会が行われました。

本部役員からは岡村副会長、派遣教員として教務部長の中原広道教授、前田事務局長にもご参加いただきました。

今年度より支部長、副支部長が交代し初めてとなる佐賀・長崎支部総会が開会され、支部長江口、小柳、牟田両副支部長挨拶の後、会計報告があり承認されました。

その後、中原教務部長より「大学の近況について」ご報告がありました。

6年間の教育課程についての説明をしていただき、各学年別での学習に対する取り組みについて詳しく説明をしていただきました。

また、国家試験の合格率も含めたお話をいただき、会場に来ていた学生は真剣な面持ちで話を聞いていました。

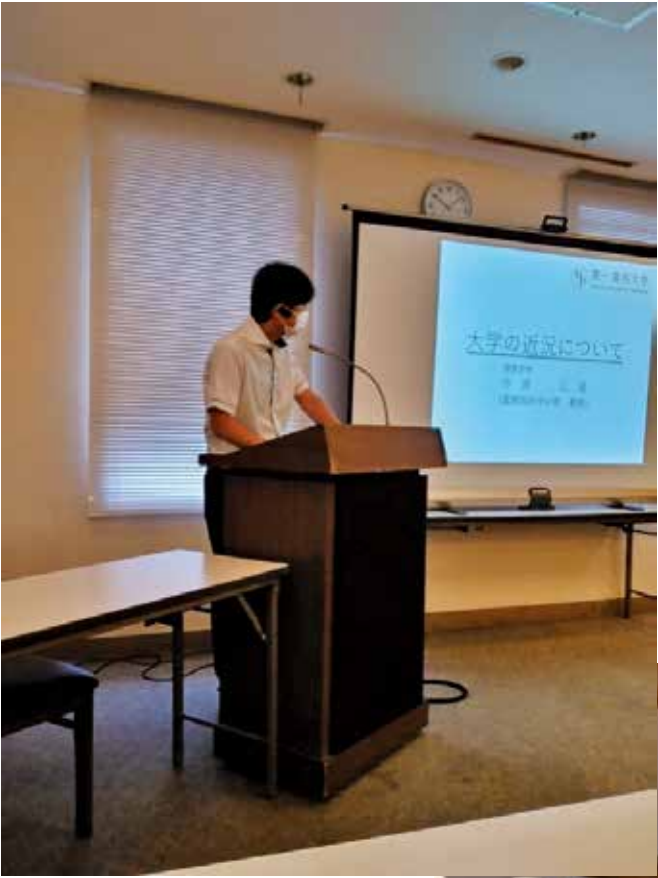
夏季勉強合宿など、先生がたも様々な方法で、国家試験合格に向け尽力いただいている様子がうかがえる説明会となりました。

後援会としましても、例年大学で計画する6年生対象の国試対策夏季合宿勉強会の補助や国試予備校の講師による講座を大学へ計画・実施依頼4年生対象のC B T対策勉強会。1～4年生対象に後援会主催の集中講座の開催など、今後とも学生の教育の一助になればと思います。

最後に岡村副会長より講評をいただき、閉会となりました。

後援会終了後は、同ホテルにて昼食会を行い、よい意見交換の場となりました。

今後とも後援会活動を通じて、学生のサポートを行いたいと思います。





熊本支部長  
大村 孝文

令和5年7月30日、ホテル熊本テルサにて令和5年度第一薬科大学後援会熊本支部総会を開催しました。コロナウィルス感染症が5類になったとはいえ、感染者が拡大してきているこの時期の開催でしたので心配しましたが、参加者は熊本支部53会員中7会員（保護者11名、学生1名）で、会員出席率は13%でした。

総会は3部構成で、第1部の支部総会では、後援会活動状況と決算・予算案を報告し、次年度の役員は今年度役員の再任で承認されました。

第2部は小山薬学部長から「薬学部の現状」のご講演を、第3部は薬学ゼミナールの松本講師から「薬剤師国家試験合格に向けて」のご講演を賜りました。

総会終了後に、ホテルレストランのバイキング会場で懇親会を開催しました。

私ども保護者・学生とご講演頂きました先生、本部役員の方々と色々な意見交換ができ、笑顔の溢れるとても有意義な総会になりました。ご参加の皆さまにお礼申し上げます。

### (第2部 薬学部長 小山先生の講演の要約)

「薬剤師国家試験結果、共用試験(CBT,OSCE)結果、年間計画、進級率、学力向上のための取り組み」等についてご講演いただきました(講演資料は後援会ホームページに掲載されています。専用ログインして閲覧ください)。

- ・卒業試験(薬学総合演習)は国家試験に準じたレベルで実施している。
- ・CBTの合格率が82%で全国平均に及ばない。卒業試験や国家試験の合格に直結するので、体験受験でしっかり学力をつけていただきたい。
- ・2年次から3年次への進級率が66.9%と6年間の進級率で最も低い。3年次からの薬学専門課程に備え、2年次までに基礎学力をつけることが重要。
- ・学力向上のために、補習授業や夏季合宿勉強会を実施している。動画配信もしているので、活用していただきたい。

### (小山先生への質疑応答)

**Q1** 苦手な科目の克服と留年しないための勉強法を教えてください。

**A1** 担当科目の教員に個別にアドバイスをいただくのが良いと思います。留年しないというより、ストレート合格するというマインドセットが大事です。大きな目標を持って、小さな学習を毎日実施してください。また、ラーニングサポート室もありますので、ご活用ください。

Q2

留年生や卒延生にたいして保護者や後援会ができる支援はありますか。

A2

保護者の方は、出席状況を確認して、必ず出席するよう本人に徹底してください。学習支援については補習授業など後援会から十分な支援をいただいております。新たな取り組みがありましたらご提案させていただきます。

その他、懇親会にて、参加者個別に就職や大学院進学等についての質問に答えていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

### (第3部 薬学ゼミナール講師 松本先生の講演の要約)

「薬学教育・学習環境の変化、国家試験の合格基準、国家試験対策の手法、薬学ゼミナールからのヒント」等についてご講演いただきました。

- ・まず、ストレートでの合格を目指す。卒業後の年月がたつにつれ合格率が低下する。
- ・薬学教育モデル（令和4年度版）が公表され、2029年度から新・薬剤師国家試験出題基準で国家試験が実施される予定。
- ・お勧めの勉強法は、「人に教える、問題を出し合う」です。インプットに加えて、アウトプットが重要。
- ・学内の講義・模擬試験には必ず能動的に参加する。試験で知識の抜けを確認し補填する。

### (松本先生への質疑応答)

Q1

在校生の保護者ですが、今のうちから薬学ゼミナールに入れたほうが良いのでしょうか。

A1

薬学ゼミナール入校生は基本的に卒業生を対象にしています。在校生には、個別指導もありますが、無料のCBT講習会や薬ゼミアプリ等を提供しています。詳細は薬学ゼミナールのホームページで確認されてご活用ください。

### (所感と展望)

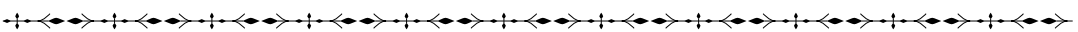
#### 1. 熊本支部総会の開催形式と開催時期について

- ・支部総会の形式（総会後の大学職員と予備校講師の講演）について、参加者から、大学職員や予備校講師からの情報を聴きたくて参加したとの声がありました。
- ・今回の総会開催日は、定期試験および実務実習期間と重なっていたこともあり、学生の参加は1名でした。開催日を8月にすれば、学生も参加できるかもしれないという意見がありました。

次年度開催の参考にさせていただきます。

#### 2. 支部総会への参加依頼について

- ・多くの会員様に参加していただくため、「支部総会開催のお知らせ」に、式次第に加えて会場地図を掲載しました。さらに、懇親会は無料であり情報交換の良い機会であることを明記しました。懇親会は出席者全員に参加していただき、保護者、先





生、後援会役員の親睦を深めることができました。

- ・後援会の活動をより深く知っていただくため、第一薬科大学ホームページと後援会ホームページの閲覧について参考資料を作成し、総会で紹介しました。IDとパスワードを聞き、出席状況を確認しますという声や後援会ホームページを見てみますという声をいただき、後援会活動に興味を持っていただけたと思います。

支部総会で、大学の現状や国家試験について重要な情報を入手できます。保護者、学生、先生方の情報交換もできます。ぜひ多くの会員様に支部総会に参加していただきたいと思います。



講演会場



懇親会



参考資料

## 南九州支部総会報告



南九州支部長  
福田 秀文

令和5年8月6日鹿児島勤労者交流センターにて南九州支部総会を開催致しました。出席者は南九州支部会員109名中11名の会員17名の出席でした。その他、中原教授、小松幹事（福岡支部）、本部事務局より大漣様、下妻様にご参加いただき合計で21名となりました。

最初に支部長より「子供たちには大学生生活も謳歌してほしいと思う反面、国家試験という壁も意識しながら大学生生活を過ごしてほしい、そのためには、学生、保護者、大学との双方向での連携が重要ではないか、

その一部の役割を果たしているのが支部総会ではないでしょうか」との投げかけから、総会がスタートしました。

まず、資料に基づき、活動状況、令和4年度の会計報告などを行い、支部役員の承認及び会計報告については参加者の全会一致で承認されました。その後、支部役員の自己紹介があり、総会は終わりました。

続いて、大学よりお越しいただいた中原教授より大学の現状と取り組みについて「①一般的な6年間のカリキュラムと年間スケジュール ②各学年進級率・薬学共用試験（CBT・OSCE）の合格率 ③第108回の国家試験合格率の説明 ④各学年でのカリキュラムや学力強化策について ※各学年共大事な学年ではありますが、入学時の成績よりも、1年生の終わり、または2年生の始めの成績とその後の成績と相関していることや4年次の共用試験、特にCBTの成績と国家試験の合格との相関があることを統計で提示して分かりやすく説明して頂きました。

その後は中原教授を囲み、昼食をとりながらの懇親会を行いました。

懇親会の中で保護者から「卒業試験についても、もう少し難易度を下げて卒業者を増やしてほしいとの要望に対し、これまでゼミによる試験問題から学内で試験を作成していることやその試験の難易度と国家試験の難易度は合致しており、そのためここ数年の高い合格率に繋がっていると説明がありました。」また、印象的だったのは、4年次から6年次の学年ごとのロードマップが示されており国家試験または卒業に対する自分の実力がどの位置（合格・卒業延期・CBT不合格など）にあるのかが実力試験や模試でわかるようになっていたことでした。合格ラインにない人は、どの程度努力が必要なのかの目安にもなり、保護者としても興味深く聞かせて頂きました。しかし、その成績については個人情報保護法により学校から保護者に直接教えることはできないとのことでした。更に大学側も3月の卒業率や国家試験



## 看護支部総会報告



看護支部長  
友納 真理子

令和5年度看護支部総会を7月2日(日)10時より、ホテルクリオコートにて開催致しました。今年度は、なかなかお会いする機会がない保護者の皆様と気軽に話せる場があればとの思いで、先生方をお招きして保護者交流会を行うこととなりました。

大学より、吉武毅人学部長、一原由美子教授(1年担任)、篠崎克子教授(2年担任)、瀧田裕子教授(3年担任)、西地令子教授(4年担任)、山田満事務課長をお招きし、後援会本部より大村孝文幹事、下妻博看護支部調整役にご参加頂きました。

まず、学年毎にわかれて先生方に輪の中に入って頂き、保護者・学生の皆様が抱えている悩み、不安、疑問、要望などお話しして頂きました。

学年交流会の中での話題を少しご紹介します。

学生より、学食がすぐ売り切れるため困っているの看護学部で販売枠を確保できないか、また、看護棟で販売されるお弁当の数が少ないので増やせないかなど要望があり、検討して頂くことになりました。

保護者より、看護棟入口に個別学習スペースを作り、皆が勉強に取り組む環境整備をしてほしいとの要望がありました。

先生より、レポートやアセスメントは現場に出れば頭の中でやらなければならないことを文字におこして書いているので、訓練と捉えて課題をこなしていけば、忍耐力もつくしプラスになるので大変だが頑張るしかないとお話頂きました。また、より良い授業にするために困った時は躊躇せずに目安箱を活用してほしい、とのことでした。

その後、全体で学年を超えて情報交換などを行いました。

終始リラックスした雰囲気の中で、先生、保護者、学生の皆様から日頃聞くことができないう貴重なお話をたくさんして頂き、とても有意義な時間を過ごすことができました。

交流会の後にはお弁当を食べながら懇親を深めることができました。

最後にアンケートをご記入頂き、とても楽しかった、参考になった、来年は子供と参加したい、などのうれしいお声を頂きました。

ご臨席賜りました先生方、ご参加くださいました保護者・学生の皆様に心より感謝申し上げます。

来年度も、多くの皆様と交流が持てる看護支部総会を開催できますよう祈念いたしまして、ご報告とさせていただきます。

# 令和5年度 看護支部総会

日時：令和5年7月2日（日）10:00～13:00

場所：ホテルクリオコート博多 4階

## ～プログラム～

1. 開会のあいさつ
2. 支部長あいさつ
3. 来賓紹介
4. 吉武学部長あいさつ
5. 後援会組織ならびに看護支部について
6. 担当役員紹介
7. 学年交流会
8. 全体交流会
9. 閉会のあいさつ

## ～懇親会（昼食）～

13時終了

### 令和5年度 看護支部総会アンケートのお願い

本日は令和5年度看護支部総会にご参加頂きありがとうございます。  
今後の看護支部総会の参考にさせて頂きたくて、下記のアンケートにご協力をお願いいたします。  
※アンケートは無記入となっておりますのでご安心ください。  
該当するところのみをつけてください。

#### ～今年度支部総会について～

- Q1. 学年交流会はいかがでしたか？  
満足 やや満足 どちらとも言えない やや不満 不満
- Q2. 全体交流会はいかがでしたか？  
満足 やや満足 どちらとも言えない やや不満 不満
- Q3. 懇親会（昼食）はいかがでしたか？  
満足 やや満足 どちらとも言えない やや不満 不満

#### ～来年度支部総会について～

- Q4. 学年交流会があればまた参加してみたいと思いませんか？  
思う やや思う どちらとも言えない やや思わない 思わない
- Q5. 全体交流会があればまた参加してみたいと思いませんか？  
思う やや思う どちらとも言えない やや思わない 思わない
- Q6. 懇親会（昼食）があればまた参加してみたいと思いませんか？  
思う やや思う どちらとも言えない やや思わない 思わない

～ 全体を通してのご感想などあればご自由にご記入ください。～

ご協力ありがとうございます。

\*お弁当のお持ち帰りはできません。

\*会終了後は、先生方とのお話しご遠慮いただき、速やかにお帰りください。

## 令和5年度入学式の挨拶

令和5年4月2日

第一薬科大学後援会 会長 吉田 幹英

皆さん、第一薬科大学への御入学、おめでとうございます。

私は、第一薬科大学後援会の会長をしています吉田と申します。

令和5年度の入学式にあたり、第一薬科大学後援会を代表いたしまして一言ご挨拶申し上げます。

本校の校庭には、桜の花のピンクの鮮やかな花びらが大変美しく、皆様のご入学を祝福しているように感じます。桜の花に生命の息吹を感じますが、本学は医療系の大学であり、薬学、看護学という人間の生命に関わる非常に崇高な分野を学ばれる大学であります。

現在もまだ収束はしていませんが、一頃の猛威からはやや落ち着いてきた新型コロナウイルスへの対応も、医療関係者が担う役割は非常に大きなものがあります。

さて、第一薬科大学後援会とは、第一薬科大学後援会のホームページにも設立の趣旨が記載されていますが、「大学の堅実な発展を後援することを目的として発足し、学生の充実したキャンパスライフ向上をめざしています」となっています。

後援会が行う主な活動としましては、まもなく皆様方が参加されるフレッシュマンセミナーに対するバス代やお弁当の補助を行っています。そして国試対策勉強会やCBT対策、実習対策など各種勉強会の支援を行い、資格試験の受験料も提供しております。

また、後援会には、皆様の出身地域別に設けた支部があり、7月から8月頃にかけて支部総会を開催し、大学と保護者、学生が情報共有や親睦を深めるために支部総会を行っています。ひと月前位に各支部長から案内状が届きますので、ぜひ、ご参加ください。

後援会の活動の詳細につきましては、第一薬科大学後援会ホームページや間もなく皆様のご家庭にお届けします第一薬科大学後援会会報においてお知らせしていますので、後援会の活動内容をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。





## 令和5年度6年生夏季合宿勉強会 印象記

合宿期間 2023年8月21日(月)～8月31日(木)

合宿場所 日本経済大学各施設

夏季合宿勉強会では、毎年、系列校である日本経済大学 福岡キャンパス(太宰府市)の施設を借り、実施しています。第一薬科大学からバスに乗り込み日本経済大学のオックスフォードハウスまで移動しました。今年度も日中の講義は本経済大学 福岡キャンパスの新館講義室で実施し、宿泊・夜間演習は学生寮オックスフォードハウスにて、早朝から深夜まで勉強できる環境を整えて実施しました。

2023年度の合宿勉強会は、36名の学生が参加しました。COVID-19が第5類へと分類され、コロナ禍依然と同様の夏を過ごせるようになったため、今年度の夏季合宿には多くの学生が参加することを想定していましたが、参加率は30%と2021、2022年度を下回る結果となってしまいました(2021年度:35%、2022年度:54%)。参加者の多くは成績中位の学生でしたが、「自身を変えて、何とか国家試験に合格してやろう」という意識を持った学生が多かったように思います。例年よりも成績上位者の参加が少なかったのですが、本年度の6年生は、3年生以降をコロナ禍で過ごしているため、一人での効率的な勉強法を確立したと実感する学生が多いためであろうと考えています。



(写真1 大学出発)



(写真2 オックスフォードハウスに到着)

合宿勉強会初日は、オックスフォードハウスのダンススタジオで、「入所式」「合宿前確認試験」を実施しました。合宿初日にテストを行うことで、「これまでの成果確認試験(卒業試験の一部)などで学んだ内容も完全に理解しているわけではない」ことを実感してもらい、合宿生活に対する意気込みを新たにしてもらうために一役買ったように思いました(実際、合宿後のアンケートではこのような意見が記載されていました)。令和4年度からは、予備校のみに講義を任せきりにするのではなく、事前アンケートで選出された3名の本学教員による講義を行っており、終了後アンケートにて、「再度受きたい先生の講義」にも本学教員の名前が挙がるなど好評のようで、一定の評価を得られていると思われます。





合宿期間中の中日である日曜日は、日本経済大学での日中の講習会はお休みです。その代わりに、ダンススタジオで本学教員による演習が午前中から行われました。日曜日でも寝坊する参加者は1人もおらず、演習にも積極的に参加していました。



(写真9 本学教員による日曜の演習)



(写真10 日曜の演習に参加する学生さん)

毎日頑張っている学生さんへのちょっとしたご褒美として、日曜日の昼食は少し贅沢に。オードブルやピザ、フルーツを準備しました。豪華なお昼ごはんはすぐに売り切れ。学生たちも笑顔であふれており、いい気分転換になったようでした。昼食後も引き続き演習に参加したり各自で復習したりと日曜日でも勉強モードが途切れることはありませんでした。



(写真11 昼食準備を手伝う学生さん)



(写真12 笑顔でピザを食べる学生さん)

演習や質問対応などで合宿勤務に入っていた先生方の中には差し入れを持ってこられる方も多く、国家試験合格にむけた団結力を感じました。また、大学ではなかなか話しかけにくい先生ともコミュニケーションを取りやすくなっている様子でした。

合宿中は学生と教員との距離感が自然と近くなるため、合宿期間中は先生方に積極的に質問している姿が目にとまりました。合宿という特別な環境が、学生さんたちの積極性を引き出していると感じました。10日間という短い合宿勉強会でしたが、国家試験合格を目標に他の学生と共に切磋琢磨してきました。ここで培った勉強へのモチベーションを国家試験当日まで維持してほしいと切に願っております。



(写真13 教員からケーキの差し入れ)



(写真14 予備校講師へ質問する学生さん)



(写真15 講義最終日 集合写真 於 日本経済大学)

文責 6年教務 山脇 洋輔

## 「2023 第14回薬大祭」を終えて

第一薬科大学の「第14回薬大祭」は新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられて季節性インフルエンザと同等の対応となって10月28日(土)・29日(日)の2日間にわたり学内を開放し開催されました。

今年の模擬店では新型コロナウイルス感染症の影響と最近食中毒の発生が多いことから保健所からの指導が厳しく飲食物の提供でメニュー変更したブースもちらほら、それでも売れつくし繁盛したようです。

模擬店以外の薬大祭の催しとしては10月28日(土)9時半から開会式及び学生活躍賞贈呈式に始まり、薬大祭特別講演ベリードンサーの亀井祐希氏による「体は食べものでできている」の講演をはじめ、市民公開講座 日本化粧品協会の化粧品学基礎講座やパパ・ママが作るお



産準備クラス、高知県立牧野植物園・川原園長による「牧野植物園と身近な薬用植物生薬・漢方薬」の紹介、ホームカミングデイ記念講座「AI搭載型調剤ロボット リードル・ファシスの開発」、こども科学体験「キッズラボ」、一薬料理長 小林元也薬膳コーディネータによる「薬膳料理教室」、こども薬剤師・看護師体験、ハロウィン🎃仮装コンテスト、一薬クイズ王決定戦、例年恒例の研究室対抗クイズ大会、軽音ライブ演奏、薬大祭ビンゴ大会と好天に恵まれ10月29日(日)16時に閉会式のもと終焉いたしました。

また、10月28日(土)薬大祭と合わせて青春時代を過ごした高宮キャンパスの研究室や講義室で懐かしい友達や恩師と再会する目的で「第1回ホームカミングデイ」を開催しました。約150名







## 令和 6年度支部総会予定(案)

No	期 日	支 部 名
1	6月30日	筑 後
2		看 護
3	7月7日	佐賀・長崎
4		南九州
試験中につき学生参加不可のため、日程を見合わせ		
5	8月4日	福 岡
6	8月25日	北九州
7		熊 本
8	9月1日	広 域

現段階の日程案です。  
 詳細はひと月ほど前に支部長から郵送されますのでお待ちください。



## 編集後記



\*コロナ禍以降、支部総会も縮小しておりましたが、今年度も昨年度に続きすべての支部で総会が開催されました。その中で昼食会を計画した支部もあり、コロナ禍以前の支部総会となった支部も多かったようです。また、今年も異常気象が続く中、支部総会開催前に豪雨に見舞われ、実施の可否に苦慮した支部長につきましては本当にお疲れさまでした。

\*今年も年の瀬が近くなりました。国内では新型コロナウイルス感染症も第5類となり、季節風インフルエンザの対応と同等になりました。また、今年は季節風インフルエンザが流行っているようです。これからは定期試験、薬剤師国家試験、初めての看護師（保健師及び助産師）国家試験、また初めての看護学生を含めた卒業式があります。お子様を含めてご注意くださいきますようお願いいたします。

\*今年も物価高が続いており、家計に大きく影響を与えております。大きな原因は2つあります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まったころから原材料価格の高騰が始まりました。それにロシアとウクライナ紛争の影響からエネルギーや穀物の価格が国際的に高騰したことが一つの原因です。もう一つは「円安」による影響です。「円安ドル高」になりますと輸入品に対しまして支払高が多くなり、商品価格に転嫁され物価の高騰につながっています。最低賃金も上がりました。我々庶民としては賃上げを期待したいものです。

\*大学では実習棟耐震化工事の計画や新講義棟建設の準備が進められています。出来るだけ授業に影響がないよう進める予定で伺っています。大学としては2つの大きな事業を控えているようです。その中で、来年度も皆様のご支援のもと後援会活動の充実を図っていききたいと祈願いたします。

後援会事務局長 前田



第一薬科大学後援会会報  
第38号

発行日 令和5年12月15日

編集 第一薬科大学後援会事務局

発行 第一薬科大学後援会

TEL (092) 551-4746

FAX (092) 555-3134

印刷 株式会社 石州

福岡市南区塩原3丁目7-23

TEL (092) 541-1400